

立沢里山

平成23年12月25日 立山新聞 第24号

発行：立沢里山の会 代表 鈴木 榮
 問い合わせ先：事務担当
 須賀（守谷市役所内 45-111 内線 351）
 立沢里山ホームページ
<http://www.geocities.jp/tatuzawasatoyama/>

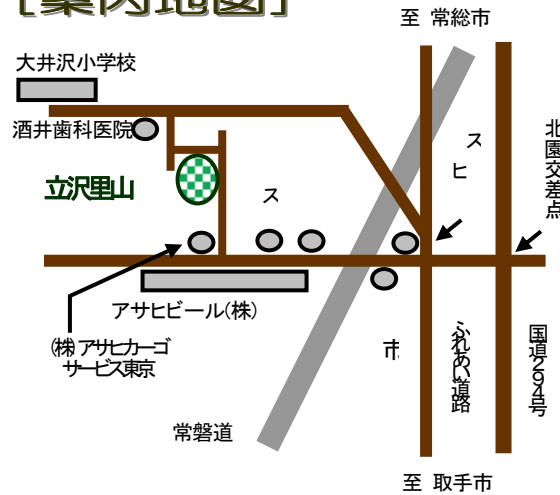
ボランティア募集
 あなたも一緒に楽しみましょう！

～目次～

- 1 北守谷団地、夏祭りに出店
- 2 「田んぼの学校」の稲刈り
- 3 脱穀作業
- 4 香取神社の風倒木整理
- 5 新ソバ祭り
- 6 竹林作業、総会、懇親会



【案内地図】



「立沢里山新聞」の記事をお願いします

denen21@hb.tpl.jp

清野



大切かもしれません。



2 「田んぼの学校」の稲刈り

今年も5月に田植した田んぼは順調に草刈り等を行って管理され、収穫の秋となりました。

9月17日(土)に稲刈りのために、草刈りやオダの準備を行いました。今年は冬に竹材を調達し乾燥させてあったので、道路際にオダを設置することにしました。

予定していた9月21日(水)はあいにく台風15号の直撃を受けてしまいました。雨だけでなく突風もあり急遽26日(月)に延期しました。

26日(月)は幸い雨の心配はありませんでしたが、台風の影響で稲が倒れて刈りにくいのと、もともと排水の悪い田んぼなので雨水が残り足場が悪く稲刈りとはなかなか厳しい状態でした。

そんな中9時過ぎには市内3つの小学校から5年生200人以上が元気に徒歩で集合しました。

主催者挨拶、子供達の挨拶に続いて海老原農業委員会会長から稲刈りの説明があり、早速各学校に別れて稲刈り作業が始まります。

予期した通り、先の台風で田んぼは泥沼状態なところに、風で稲が倒れて刈り取り作業は大変でした。



それでも稲刈り、結束、運搬など皆で作業分担し、倒れたところは反対側から刈り採ったり、足場の悪い箇所は手渡しなど工夫しながら一生懸命作業し、1時間半ほどで終了しました。皆田植でもないのに泥だらけになりご苦労様でした。

会長の講評で皆の感想を聞いたところ、疲れて大変だったという声が多かったのですが、楽しかったという声はそれ以上あり満足した様子でした。

1 北守谷団地、夏祭りに出店

今年も8月20日(土)21日(日)に恒例の北守谷団地の夏祭りに出店しました。

6日(土)に昨年採取し一年間静置しておいた竹酢液の詰め込み作業を行いました。今年は若干少なくペットボトル約100本となりました。また例年通り竹炭アートなども用意しました。

祭り当日の午前中に焼きそば等の仕込み作業を行い、土曜日の午後テントなどの設営を行いました。天気を心配しましたが、霧雨程度で暑くもなく助かりました。

今年は東日本大震災の影響で、節電のために開催時間が制限され1時間早い終了でしたが、売り上げは売上金は、20日(土)が約22万円

21日(日)が約15万円、合計で約37万円とますますでした。

竹炭アートは完売しましたが、竹酢液は半分しか売れず、今後は使用方法の説明など広報が



竹炭アート

夕方はいつもの場所で海老原会長の農水大臣賞受賞のお祝いを兼ねて慰労会を行いました。

そこで話題になったことは、福島原発事故の影響を受けて、放射能汚染を心配する父兄や教育関係者の不安から稲刈りそのものに対する意見と里山関係者とのやり取りでした。

主催する「里山の会」としては、あまり問題とならないはずと思っていましたが、関東南部でこれでは日本中が大変なことになる。農業を守るために毅然と対応しなければならないなどと様々な意見がありました。

一方で、子供達の安全を守りたいという父兄の気持ちも大切で、風評被害と一言で否定できるものではなく、教育委員会を含めてかなり厳しいやりとりがありました。

最終的には、科学的な根拠に基づいて冷静に判断することが大切と、市役所に放射能測定を実施してもらい、安全を確認したうえで稲作体験を予定通り実施し、収穫物の扱いは学校の判断とすることになりました。

おそらく、このような事態は東日本で放射能の影響を受けた地域ではどこでも発生していると思われます。出来る限りの安全対策をとるとともに、早めに実態調査を行い、率先して情報提供し消費者の不安解消を図ることが大切だと実感したところです。



閉会の講評



懇親会

3 脱穀作業

稲刈りは台風直撃で大変でしたが、その後は天気にも恵まれ10月4日(火)に脱穀作業を行いました。

脱穀作業に参加いただきました皆さんには、大変お疲れ様でした。

今年の収穫高は、あいにく、例年に比べて総量が4表弱(225kg)と少ない状況でした。夏の暑さなどが問題だったようです。

配分については大井沢小学校は児童数が多いため60kg、他の御所ヶ丘小学校と松前台小学校は45kgとし、残りは里山の会の会員に配布する予定です。



紅葉した刈りたアギナ

4 香取神社の風倒木整理

11月26日(土)の定例作業は田んぼの片づけの後に、香取神社の風倒木の整理を行いました。

神社林は立沢里山の上流部に位置しており、先の台風による強風で倒れたり、折れ曲がったりとかなりの被害を受けました。中には直径が70cm前後の太い木もあり、隣接する集会所の方に倒れなかったのが幸いでした。

作業に当たっては間違っても集会所の方向に倒れてしまわないようにロープをかけて慎重に行いました。また最も危険なのは曲がって応力がかかったままの木で、伐採した際にはねて全国でも数多くの事故が起きています。幸い風もなく作業は順調に進んで午前中に終了し、一部は里山の木道整備のための基礎材として活用するために軽トラックで運搬しました。



木道の基礎杭



5 新ソバ祭り

風倒木の整理が順調に終わり、近く実施される新ソバ祭りに皆で行ってみました。

香取神社からすぐ隣のソバ畑の中にテントを張り、駐車場のスペースも設けた会場に沢山の車が集まり行列ができていました。

作業の後片付けをしてから会場に到着した時には売り切れ状態でしたが、先発隊が人数分確保してくれてありつきました。ソバ打ちは「守谷二八会」の有志が手際よく行き、なかなかの腕前でした。

今回は初めての企画でしたが、ソバ畑で食べる究極の地産地消の味わいでした。



6 竹林作業、総会、懇親会

12月23日(土)は、年末のあわただしい時期でしたが、竹林の伐採作業を行いました。

朝からの冷たい強風にもかかわらず、竹林の中は防風効果があり比較的静かでした。今回は4回目の作業で皆慣れてきており、伐採する竹の選定、切り倒し、枝払い、定尺切断、運搬と順調に進められました。

竹炭に適した2又は3年ものの竹を選び、小枝も箒やマドラー用に活用します。来年のタケノコ収穫も楽しみです。

作業は午前中で終了し、午後4時から「おおくぼ」で総会を開催しました。

予算決算、事業計画などについて報告、審議、決定がなされました。また、会設立10周年記念事業、木道の改築作業などについても意見交換が行われました。

木道についてはアサヒビールの補助金を活用し、先日の香取神社の風倒木伐採作業で基礎資材も手配済みなので、来年春頃に実施することとなりました。

終了後、例年10月にやっていた懇親会を今回は総会後に行いました。忘年会シーズンということもあり、話がはずんで二次会へ持ち越した者もいたようです。



竹林整備作業後